

# 道の駅「ビオスおおがた」と高知工科大学との連携

道の駅「ビオスおおがた」と高知工科大学（経済・マネジメント学群 永島研究室）の学生が連携して、「道の駅」を拠点としたイベントやホエールウォッチング事務所で滞在型学生ボランティア活動実施、東京芝浦で黒潮町のPRを実施

## ①滞在型学生ボランティア活動

- ・「道の駅」を拠点に開催されるイベントやホエールウォッチング事務所で学生ボランティアスタッフとして参加

反映

## ②黒潮町の観光ニーズや課題調査

- ・滞在期間中、道の駅「ビオスおおがた」、砂浜美術館、ホエールウォッチングにて黒潮町の観光についてアンケート調査を実施

発展

## ③イベント参加による黒潮町のPRと商品販売『今日の食卓に高知の一品を』テーマに

- ・「道の駅」と大学との連携企画の活動経験を9月の東京芝浦で開催する「芝浦運河まつり」において黒潮町の特産品販売等、黒潮町のPRを実施

## 【高知工科大学による商品販売促進の実績】

高知工科大学では、学生自らが、自然景観食文化、伝統芸能などと顧客の共感、感情といった新たなマーケティング論を研究してきた実績があり、これらのノウハウを活用していきます。

芝浦運河まつりでの高知産品販売促進



## 【道の駅「ビオスおおがた」について】

道の駅「ビオスおおがた」では、「カツオたたきバーガー」が人気商品。隣接する砂浜美術館では、自然を舞台にTシャツアート等を展開し、情報を発信中。

特産のカツオたたきバーガー



高知工科大学（所在地：高知県香美市）は、集中的な科目履修を可能にするクォータ制や学生の自主性を重視した全科目選択制など、先進的な教育システムをいち早く取り入れており、4学群を設けています。

このうち、経済・マネジメント学群は、7つの専攻を設定しており、1年次から2年次前半には、学群共通の経済系・経営系の専門基礎科目を学び、2年次後半以降は「専門発展科目」を、さらに3～4年次では各専攻において「専攻領域科目」を学び、専門性を高めます。

また、各省庁の地域活性化政策担当者や地域再生事業に関わるリーダー、大学教員等の講師が、講義、パネルディスカッション、グループワーク等を通して、より実践的な教育を推進する「地域活性化システム論」は、高知工科大学ならではの特色ある教育プログラムとして注目を集めています。

# 道の駅「ビオスおおがた」と高知工科大学との連携

## 平成28年度 取組み内容①：滞在型学生ボランティア活動

・ゴールデンウィークをはさむ9日間(4/30~5/8)にかけて黒潮町に滞在し、Tシャツアート展会場やホエールウォッチング事務所で学生ボランティアスタッフとして活動

### ・Tシャツアート展会場

道の駅に隣接する入野の浜で平成元年から毎年5月上旬に開催されている、黒潮町の代表的イベントの一つです。公募により募集したイラスト等をTシャツに印刷し砂浜で展開しました。

●Tシャツアート展会場の様子



●Tシャツ返送作業の様子



## 平成28年度 取組み内容②：黒潮町の観光ニーズや課題調査

・アンケートについては3箇所で約350名の県内外の人から協力頂きました。

●アンケート調査受付の様子



アンケート用紙

平成28年度 取組み内容③：イベント参加による黒潮町のPRと商品販売『今日の食卓に高知の一品を』テーマに

・芝浦運河祭りでの成果

毎年、イベントを行っている芝浦の町興しの一環で今年で3回目の出店となります。

黒潮町でボランティアに参加し、地域の人々との交流を図ることにより黒潮町のPRをしたいと思い参加した。

現地のお客様の中で、高知県黒潮町を知っている人はほとんどいなかったが、自分たちが黒潮町の干物や缶詰と芋ケンピを来場されているお客様のところに直接出向き、販売する際に黒潮町の紹介をすることによって目標に立てていた『黒潮町を知ってもらう(PRする)』ことが達成できた。

●芝浦運河祭り会場の様子



●黒潮町のPR活動の様子



●商品販売活動の様子

